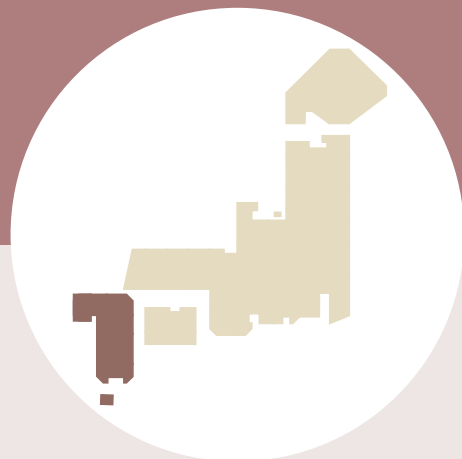


# 九州・沖縄



p.52 長崎県

平田好郎さん



ダンススポーツ

p.53 熊本県

矢野 穰さん



グラウンド・ゴルフ

p.54 熊本県

守田涼子さん



スポーツウエルネス吹矢

p.55 沖縄県

金城盛男さん



グラウンド・ゴルフ





## ダンススポーツ 「ながさき椿」(監督兼選手)

ひら た よし ろう

平田 好郎 さん

70 歳

● 参加歴：5 回目

### 最高のパフォーマンスと最高の思い出をカップルで

今回、県代表として参加できるのは男子4名、女子4名の4組8名です。その選抜戦に向けて、毎週2～3回の練習を重ねてきました。健康のために始めたダンススポーツですが、今回で5回目となる代表に決まったときは、「やったー！」とカップルで大喜びしました。

いよいよ出発の朝、ワクワクした気持ちで、仲間や長崎県選手団と合流。和気あいあいの中、点呼も済み、長崎空港から羽田空港、そして川崎市の宿泊ホテルへ。夕方、仲間で近くの商店街を散歩すると、「ねりんピック」の大きな横断幕が入口に吊り下げられていて嬉しくなりました。みんなで食事をして、ワイワイと楽しかったことも忘れられません。普段は練習に明けくれ、このようなことはないのです。

翌日、横浜アリーナへ。全国から集まった選手団が見守る中での開会式。特に昭和から平成、令和と、その時代の流行を表現したアトラクションに感激しました。歌あり、ダンスあり、朗読ありで楽しませてもらいました。

11月13日、川崎市の会場でダンススポーツの交流試合があり、全国から190組が参戦しました。その中で「長崎からですか？ 実家が佐世保です」と声を掛けられたり、結果の掲示付近で他県の方と目を見合わせたりと、そのたびに笑顔がありました。ダンススポーツの最高齢は、男性90歳、女性89歳でしたが、とてもそのようには見えません。ダンスには

姿勢も重要な要素ですから、やはりみなさん普段の動きから意識してされており、若々しさを維持していると感じました。

団体戦で2次戦、3次戦、準決勝と進むにつれ、だんだん競技レベルが上がり、さらに熱を帯びた応援になりました。私たちは、普段はカップルで別々に練習し、それぞれ競技会に挑戦しているため、チームを組んでのねりんピックでは、チームの一員として最高のパフォーマンスを発揮しようと頑張りました。結果としては、上位進出はできず残念でしたが、最高の思い出となりました。

ダンスの上達は「小石を積み重ねたごとく」といいます。日頃の練習は健康に気をつけながら、上達を目指して継続していきたいと思っています。素晴らしい大会を開催していただきました神奈川県、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



最高のチームワークで、いざ団体戦へ。競技会場入口にて。(左から2番目)



## グラウンド・ゴルフ 「熊本県」(選手)

や の ゆずる

矢野 穰さん

68歳

● 参加歴：1 回目

### 初めての全国大会、華々しいデビュー戦績に大満足

私がグラウンド・ゴルフを始めたのは、妻が農協の婦人部の集まりで先に体験して、「とても面白いからあなたもやってみたら?」と言ったのがきっかけです。元々ゴルフは永年続けていたため、距離の短いグラウンド・ゴルフは簡単なものだと思っていました。ところが、いざ始めてみるとなかなか難しい競技で、うまくなりたい一心で夢中になってしまいました。その後、数々の大会に参加しましたが、ねんりんピック熊本予選会への参加は2回目でした。

前回の成績は散々な結果でしたが、今回は運よく県大会で上位入賞し、「ねんりんピックかながわ 2022」に熊本県代表として出ることが決まりました。グラウンド・ゴルフには同じ益城町から3名が出場し、県選手団は11月11日に熊本空港から羽田空港、そこからバスで横浜市のホテルへ移動し、夜は横浜中華街で頑張ろう会を開催しました。

12日は横浜アリーナで総合開会式、三笠宮彬子女王殿下をお迎えして開会です。地元出身のタレントの方々がたくさん出演され、いろいろなアトラクションがあり、素晴らしい開会式でした。

その後、グラウンド・ゴルフ競技会場の近くのホテルに移動しました。

13日は茅ヶ崎の柳島スポーツ公園で、河野太郎大臣ご出席のもと開始式に臨み、そのまま初日のプレーが始まりました。1ラウンド目、出だしはあまりよくなかったものの、終盤の6番、8番でホールインワン

を出して12打で回りました。2ラウンド目はホールインワンなしですが、2打も少ない20打となり、トータル32打で初日を終えました。

翌日、プレー開始前に配られた初日の順位表を見ると、トップでした。県や九州の代表選手から「頑張れ!」の声援を受け、3ラウンド目のスタート位置に。守りに入ってはダメだと思い、強気に出たところが、出だしが4打。その後もホールインワンなしで21打となり、2日間トータル53打で、残念ながら4位で大会を終えました。

優勝を狙いましたが、自分なりに素晴らしい成績を残せた大会であったと思います。一緒にプレーした方や、九州地区の選手の方々と次の大会での再会を約束しました。大会期間中は茅ヶ崎市の職員方、グラウンド・ゴルフ協会の皆さんに大変お世話になりました。また次回も参加できるよう、日頃の練習を頑張ってまいります。



表彰式で。惜しくもメダルは逃したものの4位で納得の好成績。(左端)



## スポーツウエルネス吹矢 「くまモン混成」(選手)

もり た りょう こ  
守田 涼子さん

69 歳

● 参加歴：1 回目

### 夢のような好成績。大会本番で自己ベスト更新！

11月11日、いよいよ「ねんりんピックかながわ2022」へと4泊5日の旅の始まりです。

熊本空港で熊本県選手団の皆様と一緒に飛行機に乗り込み、初めての挑戦に期待と不安を胸に出発しました。羽田空港からはバスで横浜の宿舎へ。お揃いのユニフォームを着た選手団が並んで移動する様子は、まるで大人の修学旅行でした。夜はもちろん横浜中華街での食事。ランタンがきらめく中、みんなで明日からの健闘を誓いました。

12日は横浜アリーナでの総合開会式です。日本各地の選手団がそれぞれのユニフォームで続々と集まり、会場一杯に花が咲いているようでした。テレビでしか見ないような有名な方々が次々出られ、素晴らしい開会式に興奮しました。その後、選手団はそれぞれ競技ごとの会場へ移動となりました。お世話いただいたスタッフやボランティアの皆さんは大変だったかと思います。本当にありがとうございました。

13日は試合です。スポーツウエルネス吹矢の会場は平塚市でした。スポーツ施設が大変充実していて、体育館の周りは広い運動公園になっており、たくさんの方々が利用されていました。

スポーツウエルネス吹矢は、4重の輪が描かれた8m先の的に向け、5本の吹矢を吹きます。それを6回繰り返し、総合点数で勝敗が決まります。的の中心が7点で、それから5点、3点、1点となります。高得点を出すには安定した呼吸と集中力が必要です。

結果は、自分でも驚くような高得点。プレッシャーを感じることなく、落ち着いてプレーできて自己ベストを更新しました。成績は個人戦

女子で準優勝、団体戦では男女混成チームで優勝しました。このような場に出られたことだけで満足でしたのに、表彰は夢のようでした。その夜は熊本の皆さんに祝勝会をしていただきました。胸を張って熊本に帰れると、応援の皆さんも喜んでおられました。

この大会に出られたのは、家族の協力と皆さんの応援があつてこそ。それが嬉しい結果につながり、感謝の思いで一杯です。翌日はフリーの日で、自分にご褒美の鎌倉観光でした。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の地でさまざまな名所、旧跡に思いを馳せ、大満足な旅を終えました。

70歳近くになってもこのような大きな大会に出ることができ、たくさんの皆さんと喜びを分かち合うことができました。健康と長寿、また生きがいを感じるこの大会がこれからもずっと続くことを切に願います。



団体戦の優勝メンバーと。(中央)

個人戦でも準優勝！  
〔「ねんりん★ピックチャ」アプリで撮影〕





## グラウンド・ゴルフ 「沖縄県」(選手)

きん じょう もり お

金城 盛男 さん

66 歳

● 参加歴：1 回目

### 二度目のねんりんピックを夢見て、挑戦に乾杯！

今回のねんりんピックへ参加した私の競技は、グラウンド・ゴルフでした。昨年、選考を兼ねた沖縄県主催の大会で6位に入賞したのが経緯です。

あれから1年を経ての参加ですから、その間いろいろな思いがありました。まずは、県で開催されるいくつかの大会に参加したとき、ねんりんピックに参加経験のある先輩諸氏からのお話がありました。「楽しかったよ」「僕も行ったことがある…」など。それらの話を聞かされるたびに、楽しい思いを胸に抱いていました。

家族には、神奈川県で開催される喜びを伝え、そこに住んでいる三男や東京で暮らす次男たちに久しぶりに会える日も待ち遠しくなりました。

また今回、沖縄県代表となったことを一番に伝えたい人たちがいました。私の地元の南大東村でグラウンド・ゴルフの指導をするようになったジュニアたちです。彼らは、2022年8月6日に鳥取県で開催された「第17回ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会」に、初めての沖縄県代表選手として参加したのです。結果は団体の部で全国準優勝を果たしました。

今回、私自身も沖縄県代表として参加し、誇れるスコアで結果を残すことができました。この喜ばしい経験を、今後のジュニア指導に活かしたいと思います。

ねんりんピックに参加して楽しかったこと、うれしかったことは他にもたくさんありました。全国の選手の皆さんとの交流や、一緒にプ

レーした他県の方とのLINE交換。沖縄県のメンバーとは行動を共にし、宿泊所の同じ部屋でいろいろな話を交わす中で、まるで修学旅行のような雰囲気を感じ、これまで以上に親密になることができました。この年齢で、今はやりのグループLINEをつくり、その日撮った写真やストックしていたデータ、情報を交換することもできました。兎にも角にも、他ではできない有意義で貴重な体験をたくさんさせていただきました。

できることなら、これらの思いをもう一度体験したく、数年後には選考大会で再び代表権を獲得して「2回目のねんりんピック出場」を果たしたいと、新たな目標をつくることができました。うれしい限りです。「挑戦に乾杯！」



ホールインワン賞も手にして大満足の初ねんりんピック。